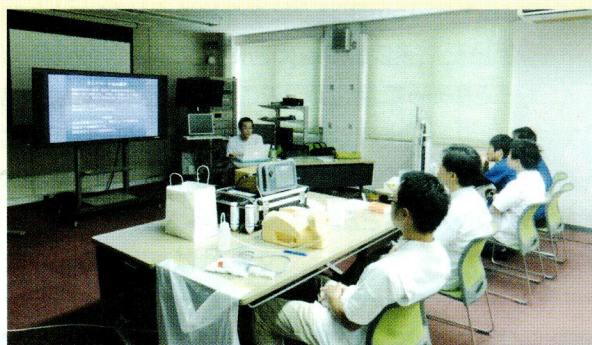


# 鹿児島医セン

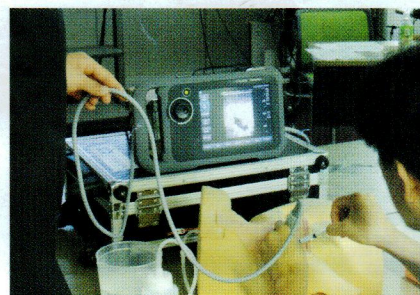
鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2011.12 vol. 68

## 超音波ガイド下中心静脈穿刺セミナーに参加して



去る10月29日、日本医学シミュレーション学会主催による超音波ガイド下中心静脈穿刺セミナーに参加させて頂きました。従来のランドマーク法による穿刺、カテーテル挿入では血管走行異常を持つ場合に対応できないため、安全に穿刺する方法の一つとして超音波ガイド下でリアルタイムに穿刺する方法が提唱されています。今回のセミナーはその理論の理解と、手技のトレーニングを趣旨としていました。川鉄千葉病院麻酔科の徳嶺先生、鹿大集中治療部の垣花先生、安田先生方の指導の下、セミナーは進行していきました。手技トレーニングでは、模擬血管を埋めこんだ単純血管モデルと人型モデル人体モデルの2種類のシミュレータを使用することで、さらに充実したものになりました。午後から研修医の皆さんも交えトレーニングを重ね、セミナーは修了しました。同手技は穿刺時の合併症を回避することに重点がおり、安全志向の現状にも則した手技とも言えます。今回学んだ知識と技術が臨床の場で活かされるよう努力していきたいと思ひます。



（文責：血液内科 原口 浩一）



# 『第60回おはら祭り』に参加して



11月の2日、3日と鹿児島市にて南九州最大のお祭り『おはら祭り』が開催されました。第60回の記念大会となる今年の踊りに、当院としても約15年ぶりに11月2日夜祭りに210名ほどの職員で参加しました。

始まりは2月の中間管理者研修での園田医局長による参加表明でした。その後6月に申し込みを行い、7月にコアメンバーによる話し合いを開始しました。踊りについては、鹿児島市の講習会に参加し、永田先生を始め講師の先生方の伝統ある踊りへの熱い思いと熱心な指導を受けました。当初は多少甘く考えていたのですがこれではいけないと心を入れ替えて、職員へ講習会への参加を呼び掛けるなどした結果、毎回多数の職員が参加することができました。その効果もあり院内でも徐々に踊りへの熱が高まり、セクションごとの練習及び3回の全体練習を経て11月2日の本番を迎えることとなりました。

当日は朝からソワソワした空気が流れる中、なんとか仕事をこなし17時15分定時で仕事を終えると、いよいよおはら祭りへ出発となりました。まず、1階フロアにて入院患者さんへのお披露目をした後に山形屋の前にスタンバイ、若干の降灰もあったものの天候はぎりぎり最後まで持ちました。アルコールも入ったこともあって、自由踊りのころには最高潮に盛り上がりました。その後、病院に戻って片付けなどした後、打ち上げ・二次会・三次会と夜は更けていきました。

今回参加して、沿道の見学者の中には元職員や患者さんなどの懐かしい顔を見ることができました。また、病院スタッフの団結力を感じることもできました。そして何より院内でのお披露目の時の患者さんの笑顔を見るといういろいろ苦労したことが吹き飛び、また来年もぜひ参加したいと思います。  
(文責:地域連携係長 井上 弘毅)

私たち鹿児島医療センター附属鹿児島看護学校の生徒158名は、11月3日に行われたおはら祭りに参加しました。本校は、2年生を中心に参加しており、毎年恒例の行事となっています。

おはら祭に参加するにあたり、事前におはら祭の振り付け講習会に参加し、地域の伝統あるおはら祭を守っていくと多くの人たちと一緒に踊りを練習しました。県外出身の学生は、おはら節の手の動きなど1つ1つの振りにきちんと意味が込められていることを知り、長い間伝統が継承されていることに感動していました。踊りの練習を重ねていくうちに意味を考えて踊るようになり、郷土の文化に触れることができる貴重な体験となりました。

当日は私たち看護学生がおはら祭に参加している姿を見て、療養している患者さんやその家族の方々がすこしでも元気になればいいなという思いで踊りました。みんな「よいやさあ〜!」の掛け声とともに元気いっぱい楽しく踊ることができました。また、全員で一致団結することによって生徒の結束力も強めることができました。158名という団体での行動は、全員の気持ちを1つにすることが難しく、当日までの準備で様々な出来事があり、他者に物事を伝えることの難しさや、協力することの大切さを改めて感じました。おはら祭を通して学ぶことのできた“努力を重ねて1つのことをやり遂げる”という姿勢を、今後の学習や実習に生かしていきたいと思えます。



## 「オープンカフェ計画」改め「中庭緑化計画」



数ヶ月前まで、鹿児島医療センターの外來棟正面玄関を入って目の前に見える中庭は、憎たらしい火山灰がタイルにこびりついた灰色の無機質な空間でした。

この無駄な空間を何とかしたいと思いましたが、何から取りかかればいいのか分からず、「とりあえず、タイルをキレイにしよう!」と、清掃することから始めました。水を流しながらデッキブラシでゴシゴシゴシ…何年間も蓄積(堆積?)された汚れは簡単には落ちません。協力者の力を借りてもこびりついた火山灰は強敵で、時間ばかり費やしてなかなかキレイになりませんでした。

そこで強力な味方「高圧洗浄機」を倉庫で発見!これを使用すると、時間は掛かりますが、みるみる汚れが落ちていきます。デッキブラシを使用するより数倍キレイになりました。キレイになったタイルを見て、灰色にしか見えなかったタイルは、実は黄色やオレンジ色の明るい色のタイルであったことが

判明しました。

中庭はキレイになった…次はこの空間を患者様の憩いの空間に出来ないか…そこで考えたのが、「オープンカフェ計画(仮称)」です。暖かい日差しを浴びながら、全面ウッドデッキにしてロール式屋根の下でコーヒーを飲む…そんな空間を夢見て、業者に見積りをお願いしたところ、金額を見てビックリ!高額な医療機器が買えそうな金額のため、「オープンカフェ計画」は断念です。

しばらくは、火山灰が降ったら清掃して、降ったらまた清掃…を繰り返していた時、事務部長が偶然知り合ったという、ガーデナーを紹介していただきました。その人の話を聞き、患者様の憩いの空間を作りたいという想いが叶うかも…そこで勝手につけた計画名を変更し、「中庭緑化計画」のスタートです。

ガーデナーからデザイン案を出してもらい、こちらの意見も採り入れてもらいながら、基本的デザインの完成です。デザイン案を見ても、なかなかいい感じ…長い間の夢が叶うような感じで楽しみです。ガーデナーと作業の日程を決めて、作業を楽しみにしていた矢先、一旦

延期となりました。その理由は、ガーデナーが、ハウステンボスで行われるガーデニングのワールドカップの予選に出場が決定し、日程がダブったことでした。結果は日本代表…とはなりませんでした。考えてみるとスゴイ人に依頼をしていたものです。

2週間遅れで作業の日を迎えました。土日での作業でしたが、何もなかった空間がどのように生まれ変わるのかが気になり、休日にもかかわらず作業風景を見に来ました。中庭に、土や枕木、樹木が運ばれてきます。入院している患者様も、「何が出来るの?」という表情で通り過ぎていきます。椅子に腰掛けて作業風景を見ている方もいらっしゃいます。当初、土日の二日間で完成予定が、ガーデナーのこだわりで二週間にまたがる作業となりました。そして完成した中庭がこちらです。車いすの患者様も中庭に降りられるようにスロープも設置しました。

今のこの時期、クリスマスイルミネーションもしています。日中は緑の植物に癒され、夜間はイルミネーションで癒される…そんな感じでしょうか。

鹿児島医療センターに来院された際は、ぜひ中庭に足を踏み入れ、憩いの空間を堪能してみてください。PS.中庭以外にも、病棟内に「小人の森」というステキな空間もあり、こちらも夜間はイルミネーションで輝いています。



# 新任紹介



麻酔科  
レジデント

かこい ともひこ  
樽 智彦

11月1日よりレジデントとして麻酔科で勤務させていただいております。当院での勤務は初めてで慣れないことが多く、周りの方々にご迷惑をおかけしていますが先生方のご指導ご鞭撻のもと日々多

くのことを学ばせていただいております。今後ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、お役にたてるよう努力していきますのでよろしくお願いたします。

## 循環器合同カンファレンスへのお誘い

当院では、毎週月曜日午後6時から手術適用症例などについて、循環器内科・心臓血管外科・麻酔科・リハ科など合同で症例検討会を開いています。オープンですので治療方針等について悩んでいらっしゃる症例がありましたら提示していただき、一緒に検討できればと思います。遠慮なくご参加お願い致します。

問い合わせ先

鹿児島医療センター 地域医療連携室

電話 099-223-1151 (内線 7344) FAX 0120-334-476

### 1 月看護研修のご案内

#### 血糖パターンマネジメント

- 日 時：平成24年1月20日(金)  
18時30分～19時30分
- 場 所：大会議室
- 講 師：糖尿病看護認定看護師 中村 由美子
- 対象者：医療関係者

※ 参加ご希望の方は準備の都合上、各コース3日前までに企画課(松尾)までご連絡下さい。院外の方のご参加をお待ちしています。

主催 鹿児島医療センター看護部教育委員会

### 研修のご案内

#### 化学療法の副作用対応に関する研修

- 日 時：平成24年1月27日(金)  
18時30分～20時00分
- 場 所：鹿児島医療センター会議室
- 講 師：(鹿児島医療センター)  
花田副院長・藤島消化器内科医長
- 対象者：医師等

※ 参加希望の方は事前に企画課(松尾)まで申し込み下さい。(軽食を準備します。)

電話 099-223-1151 (内線 7303) FAX 099-226-9246

## 編集後記



12月に入り暖かい日が続いていた鹿児島でも、徐々に冬の寒さとなってきました。写真は垂水の千本イチョウです。11月の末に訪れたので時期的には少し早かったのですが、イチョウの紅葉と錦江湾と桜島の景観にただただ感嘆するばかりでした。

(担当:井上)

■お問い合わせ先

独立行政法人  
国立病院機構

鹿児島医療センター (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 (代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246  
http://www.kagomc.jp 脳卒中ホットライン ▶ 090(3327)5765

【地域医療連携室】 濱田・今泉・永重・井上・神崎・森・中島・吉留・木ノ脇・水元・酒井  
直通電話 ▶ 099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用 ▶ 0120(334)476  
※休日・時間外は当直者で対応します。

